




義理の妹がライブ中継されながら寝取られた話
水瀬しずく ~サンプル版~

なびっくりしたー。
なんだ、しずくか。

も
おー

なんだじゃないよー。
もうご飯の時間だよ！





食事を終え身支度を整えると、
僕としずくは一緒に家を出て登校する。

甘えん坊なしずくは、
いつものように僕の腕に抱きついてた。

あ、そうそう。放課後なんだけど、
クラスの友達と一緒にカラオケに
言ってくるから。

あ、そうなんだ。
またカラオケなの？

最近、しずくは学校が終わると、
友達と一緒にカラオケやゲーセンに行くようになり
帰ってくるのもとても遅くなっていた。

昔は放課後も一緒に帰りがるほど僕にべったりだったのに、
寂しさと同時に、夜遊びが過ぎるような気がして一抹の不安を感じる。

LIVE

あ、ごめん。まちがえて
アップにしちゃった。
起こすの待ってね。

ああ、大丈夫大丈夫。

にしてもめっちゃ
良い身体つきじゃん♪

もうバンバン
エッチなことしっちゃって
いいからね☆

僕が意味が分からず目を白黒させているうちに、
やがて画面の映像が鮮明になり、僕は我が目を疑った。

いやあ！
おにーちゃん！
たすけてええ！

しずくはじけたばたと足搔こうとするが、
体に力が入らないらしくまったく抵抗になっていなかった。



んんんんんんんんんんんんんんんんんん!?

うわーすごい潮吹きだ!

すごいよしずくちゃん! こんなに潮を吹く子なんて なかなかいないよ!

本当はエッチなことがしたくて たまらなかったんだね♪

ぶるん! ぶるん!

ガイッ


どほっ ♪



も、もりもり
我慢できなうー！

んえええええええ！

突然男は、その汚らわしい肉棒を胸に挟ませたままらずくの口の中に突っ込んだ。しずくは何をされたのか全く分からず目を白黒させていた。



僕はスマホを持ったまま頭の中が真っ白になった。これからどんなことをされるのか分かっていなかったからだ。

しずくは何をされるかすぐに理解し、逃げようとしたが手足をつかまれて抑え込まれてしまう

いやあ！
あああ！

いやあ！
これ以上私を
犯さないでえ！

えー、おまんこはもっと
おちんぽ欲しいって
ヒクヒクしてるよ♪

そ、そんなこと
ないよお！

口では抵抗するものの、しずくはもはや
強く抵抗する体力も気力もなかった。

ちゅっ、ちゅっ、
んくう。ちゅっ、
はっ

男はまるで恋人のように密着し、
しずくの唇をむさぼりながら
肉棒を前後に動かしていた。

汗と唾液と精液と愛液が絡み合い、
まるで粘液を通じて二人が
混ざりあってくかのようだった。



何度目になるかも分からない射精を受け入れると、
もはやしずくは状況に流されるままとなっていた。

あっ！

あっ！

びびる

くん

ぶるん

あっ！

あっ！

本当に自らが望んでいるかのように、
男の身体にまたがって自分から腰を振り始めていた。



ま、ほんとうにみんなが
やるんですか？

あ、あゝあゝあゝあゝ

もちろんだよ。
しずくちゃんみたいにエッチな女の子は、
三人がどいり犯したいから♪
ちようどいりだから♪

じゃあ僕は
おまんこもさっね。

わ、わかりました。

義理の妹がライブ中継されながら寝取られた話 水瀬しずく
～サンプル版・完～

ネトラレ妹の続きは本編をご覧ください。